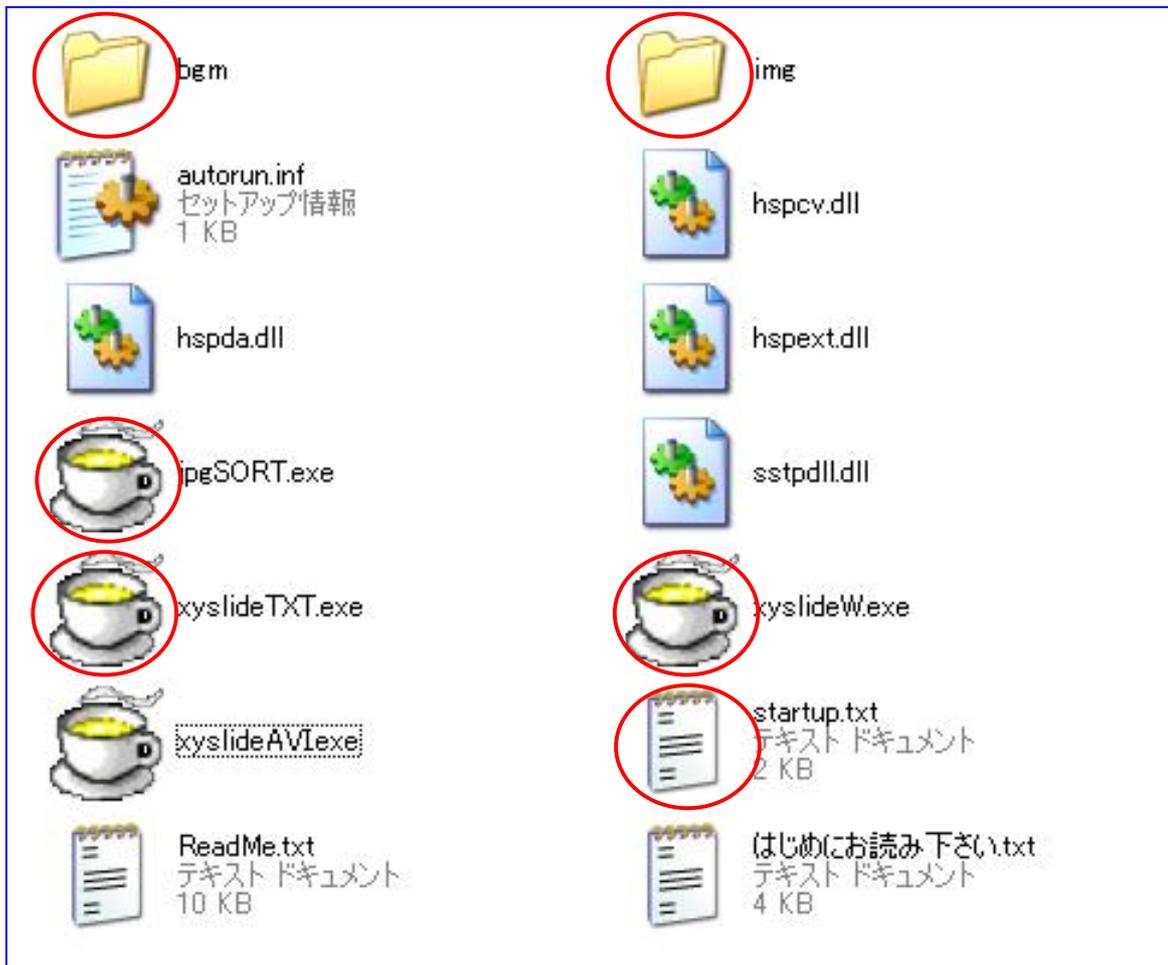


簡単に出来るスライドショー Ver2

写真にスクロール文字（説明文）やBGMを付けたスライドショーを作ってみましょう。
使用するソフトは「xyslide18th」です。（2008.08.30版を使用）

このソフトが扱える画像はJPEG、BMP及びGIFに限定されますが、使用できる画像の枚数（バイト数）は無制限です（記録媒体の容量による限度はあります）。勿論、USBに入れることも、CDに焼くことも出来ます。

「xyslide18th」フォルダを開くと、次のファイルとサブフォルダがあります。



ダウンロードしたままの状態のソフト（xyslide18th）には、サンプル画像とBGMが入っていますが、ミニ講習会で使うものは、サンプルを削除しています。

また、今回は赤丸で囲んだサブフォルダとファイルを使います。

1. 画像だけのスライドショーを作成する

「xyslide18th」フォルダを開き、サブフォルダ「img」に画像を取り込む。

画像（jpg等）を選択し右クリック ⇒ 「コピー」を実行 ⇒ 「img」フォルダを開き、右クリック ⇒ 「貼り付け」を実行する。

2. スライドショーで表示する画像の順番について

「xyslideW.exe」で実行するスライドショーは、「撮影日時順」又は「名前順」で表示することが出来ます。

「撮影日時順」の場合は、実行ファイルが画像データから撮影日時データを読み込んで、実行します。

「名前順」に実行する場合は、画像の名前に番号を付ける等、順番を明確にしておくこと設定したとおりに表示させやすい。

（注）一度スライドショーを実行した後で、画像の入れ替えや撮影日時順から名前順に変更した等の場合は、「img」フォルダの中に自動作成される「xyslide.txt」というファイルを、必ず削除しておくこと。削除しておかないとフリーズすることがある。



3. 画像だけのスライドショーを実行（動作確認）する

ミニ講習会では、撮影日時順に表示させるので、「startup.txt」ファイルを開き、最初の行に記載されている英数文字のアルファベットが「d」になっていることを確認する。「n」になっている場合は「d」に修正すること。

「d」は撮影日時順、「n」は名前順に表示させることを意味します。

(1) スライドショーの動作確認

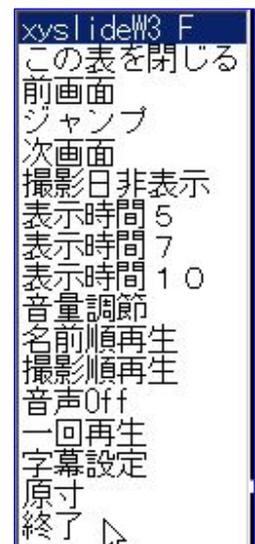
「xyslide18th」フォルダ内の実行アイコン「xyslideW.exe」をダブルクリックして、スライドショーが撮影日時順に実行されることを確認する。



(2) スライドショーを終了する

画面上でクリックすると「メニュー」（右図）が表示されるので、メニューの最下部にある「終了」ボタンをクリックする。

クリックして表示されるメニューについては、「7、画面表示メニューについて」を参照のこと。



4. スライドショーに説明文を入れる

(1) 「xyslide.TXT.exe」を起動する。



(2) 次ページのような画面（xyslideTXT）が開くので、説明文を入力する。



- ① 「字幕文字」テキストボックスに、表示されている画像の説明文を入力する。
 テキストボックスの下の「字幕中央停止」にチェックを入れると、スライドショーで説明文が停止文字で表示され、チェックを外すとスクロール文字で表示される。
- ② 「撮影日表示」～「エフェクト」の欄で、個々の画像に適用する効果を設定できる。


スライドショー全体に同じ効果を適用する場合は「startup.exe」ファイルで設定するが、個々の画像に設定した効果があれば、そちらが優先される。
- ③ 「text書き込み」ボタンを押して、説明等を確定する。⇒ 「img」フォルダに画像と同じ名前のテキストファイルが作成される。
- ④ 「次画像」ボタンを押して、次の画像に説明文等を設定する。⇒ すべての画像に設定が終了したら、「終了」ボタンを押す。

5. スライドショーにBGMを入れる

「bgm」フォルダに音楽ファイル（mp3に限る）を取り込むと、スライドショーでBGMを流すことができます。

「mp3」ファイルを右クリック ⇒ 「コピー」を実行 ⇒ 「bgm」フォルダを開く ⇒ 右クリック ⇒ 「貼り付け」を実行する。

6. スライドショーの実行方法（全体）の設定

「startup.txt」ファイルを使って、スライドショーの各種設定を行うことができる。

実行方法の設定は、「startup.txt」ファイルの1行目で行います。

【startup.txt】の内容説明

1105335d099	ここで設定します
撮影日 無0 有1	1（撮影日を表示する）
BGM 無0 有1	1（BGMあり）
音声 無0 有1	0（ナレーションなし）
表示時間 2秒2 5秒5 7秒7 10秒0	5（画像表示5秒）
字幕大きさ 無0 小1 中3 大6	3（中文字で表示）
字幕早さ 低速1 中速2 高速3	3（高速でスクロール）
字幕色 自動0 白1 黒2 赤3 青4 緑5	5（字幕の色、緑）
再生順 撮影順d ファイル名順n	d（撮影日順で表示）
再生回数 エンドレス0 一回1	0（エンドレスでプレイ）
効果 無し00 ランダム1 99 ランダム2 98	99（画像変換時の効果、画像ごとに変える）

効果については、「startup.txt」ファイルの記述内容を参照のこと

この設定は、実行ファイル「xyslideW.exe」を起動した時に反映されます。

7. 画面表示メニューについて

スライドショーを実行中に、画面をクリックすると表示されるメニューの説明です。

このメニューは実行中のスライドショーに一時的に適用され、スライドショーを終了すると解除されます。

設定を恒常的に実行させる場合は、上記6の「startup.exe」ファイルで設定すること。

- ・ この表を閉じる・・・メニューを閉じる
- ・ 前画面・・・一つ前の画面を表示する
- ・ ジャンプ・・・ダイアログでジャンプ先の番号（順番）を指定して、その画像にジャンプする
- ・ 次画面・・・一つ後の画面を表示する
- ・ 撮影日表示・・・クリックして、「撮影日」（画面左上）を非表示又は表示する
- ・ 表示時間2・・・表示時間を2秒間に設定する
- ・ 表示時間5・・・表示時間を5秒間に設定する
- ・ 表示時間7・・・表示時間を7秒間に設定する
- ・ 表示時間10・・・表示時間を10秒間に設定する

表示時間は4項目のうち3項目が表示され、適用中の時間は表示されない。

- ・ 音量調節・・・クリックするとWindowsの「Volume Control」が開くので、音量を調節することができる
- ・ 名前順再生・・・クリックすると名前順に再生する
- ・ 撮影日順再生・・・クリックすると撮影日時順に再生する
- ・ ファイル順・・・ファイルの順に再生する（名前順とほぼ同じ）

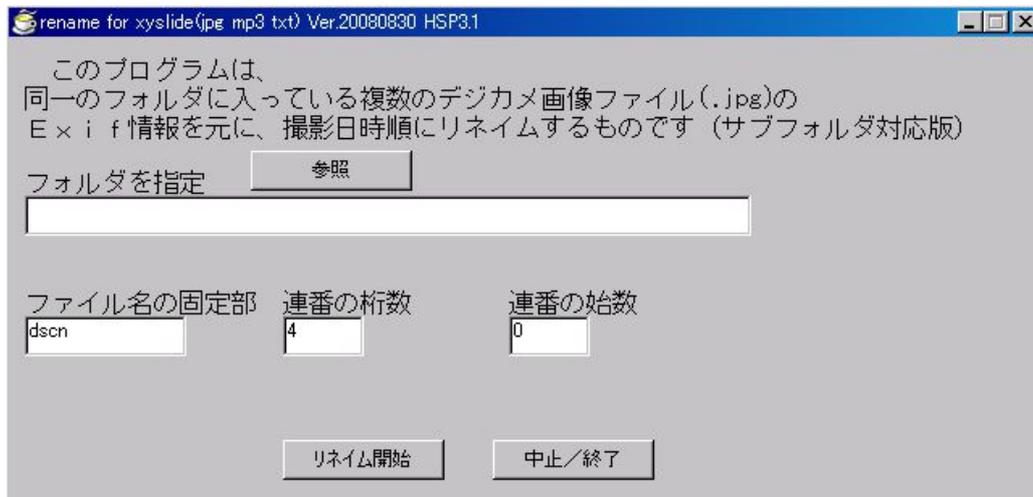
再生順は3項目のうち2項目が表示され、適用中のものは表示されない。

（注）ここで設定した再生順は、必ずしもそのとおりに実行されるとは限らない。

- ・ BGM次へ 複数のBGMを切り替える
- ・ BGM off (on) クリックしてBGMのONとOFFを切り替える
- ・ 音声 off (on) クリックして音声のONとOFFを切り替える
- ・ 一回再生（エンドレス再生） クリックして再生回数を指定する
- ・ 字幕設定 クリックするとダイアログで字幕（スクロール文字）の設定が出来る。
 字幕の大きさ 「小」、「中」、「大」、「無」
 字幕の速度 「低」、「中」、「高」
 字幕の色 「自動」、「白」、「黒」、「赤」、「青」、「緑」
- ・ 原寸 画像を原寸大で表示する、右クリックすると元に戻る
- ・ 終了 スライドショーを終了する

8. 画像につける名前（ファイル名）について

このスライドショーは、撮影日時順若しくは名前順に表示させることが出来ますが、撮影日時順に名前を付け替える（リネーム）には、「jpgSORT.exe」を使うと便利です。特に、複数のカメラで写した画像に統一した名前を付ける場合に有効です。



「参照」ボタンを押して、「img」フォルダを指定し、「ファイル名の固定部」等に入力し、「リネーム開始」ボタンを押すとファイル名の変更が出来る。

この機能で設定すると、撮影日時順と名前順が同じになるが、連番を変えてやると任意の順番（名前順）で表示することが出来る。

9. スライドショーをCDに焼き付ける（Windows XPの場合）

「xyslide18th」フォルダの内容をCDに焼付けて、スライドショーを楽しむことが出来ます。

- (1) 「xyslide18th」フォルダを開き、内容をすべて選択し、右クリック ⇒ 「送る」をクリック ⇒ 「CDドライブ」をクリックする。

（注）「xyslide18th」フォルダごと焼き付けると、自動実行出来なくなる。

- (2) CDドライブにCDを挿入
- (3) エクスプローラーの「CDドライブ」を開く ⇒ 「CD書き込みのタスク」の表示の下にある

「これらのファイルをCDに書き込む」をクリックして、書き込みを開始する。⇒ 完成

10. ミニ講習で使用する画像などについて

ミニ講習で使用する画像、BGMは用意しますが、自分の画像等を使って作成したい方は、画像（jpg、bmp、gifに限る）5~10枚程度、音楽ファイル（mp3に限る）1~2曲を持参してください。

（注）画像が多いと時間が掛かりますので、講習会では避けてください。

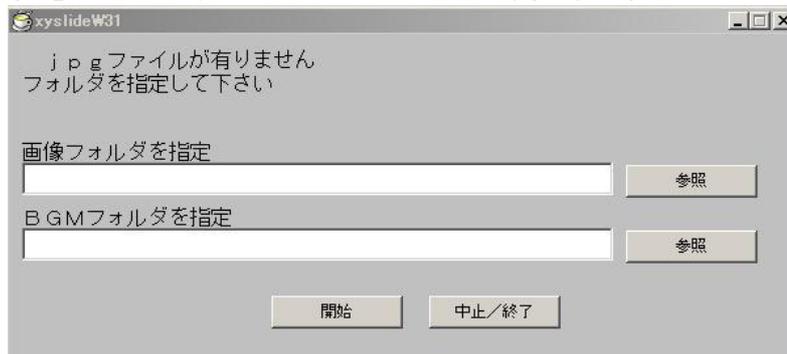
ミニ講習が終了後、USBメモリーなどにスライドショーを保存することも可能です。

なお、デジカメ動画（avi、mov）も扱えますが、講習会では使いません。

【参考】

1. 「img」フォルダに画像がない場合

- (1) 「xyslideW.exe」などを実行すると、画像フォルダの指定を促すダイアログ（下図）が立ち上がるので、「参照」ボタンをクリックして画像フォルダを指定する。
- (2) 合わせて、BGM用音楽フォルダを指定することが出来る。
- (3) 「開始」ボタンを押してスライドショーを開始する。



2. 複数のスライドショーを作成する場合には

一般的に、一度ソフトをインストールすると、そのソフトを起動させて幾つでもスライドショー（ファイル）を作成することが出来ますが、このソフトはスライドショー（ファイル）ごとに実行ファイル等（ソフト）が必要です。

従って、新たなスライドショーを作成する場合は、「xyslide18th」フォルダごとコピーして、「img」及び「bgm」（フォルダ）に新たな画像、音楽などを入れて作成します。

3. 画像にナレーションを付ける

- (1) 「サウンドレコーダー」を起動し、マイクロフォンからナレーションを録音する。

「サウンドレコーダー」は、「すべてのプログラム」－「アクセサリ」－「エンターテインメント」から開くことが出来る。

（注）音声ファイルは「mp3」で取り込むこと。また、録音はパソコンにサウンドカードがインストールされていることが必要です。取り込み方法は自習して下さい。

- (2) 「img」フォルダの中に、ナレーション（mp3ファイル）を取り込む

mp3ファイルは、説明文ファイルと同様に、対象となる画像ファイルと同じ名前を付けて取り込むこと。

（例：画像が0001xxx.jpgの場合、0001xxx.mp3とする。）

4. 表示される画像の順番が設定と違う場合

スライドショーで表示される画像の順番が、意図したものと違う場合は、「img」フォルダの中に出来ている「xyslide.txt」ファイルを修正する。

「xyslide.txt」ファイルを開くと、画像のファイル名が縦に並んでいるので、上から順番に並べ替えてやることにより、自分で設定したとおりに表示させることが出来る。

5. ソフトの入手先

最新版をベクターからDLすることが出来ます。（サンプル画像付です）

URLは

<http://www.vector.co.jp/soft/win95/art/se367551.html> です。

今回説明した以外にも、種々の設定・使い方が出来ます。「ReadMe.txt」などを参考にして各自トライしてみてください。

最終編集：2008/12/10